

1 目的

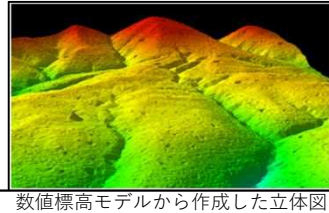
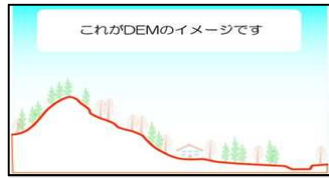
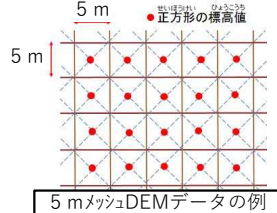
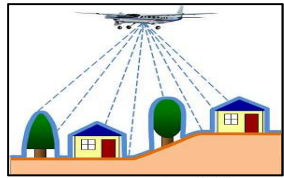
- ・ 住民の防災意識を喚起しつつ、地域全体の防災力の向上につなげていくことを目的として、高精度な地形情報等により抽出した新たな「土砂災害が発生するおそれのある箇所」を公表するもの。
- ・ 今後、これらの箇所について、基礎調査及び土砂災害警戒区域の指定を行うことにより、住民への危険周知を図り、土砂災害防止法に基づく警戒避難体制づくりの促進に繋げる。

2 抽出を行う背景

- ・ 平成30年7月豪雨において全国で発生した人的被害を伴う土砂災害のうち、約2割が土砂災害警戒区域以外で発生しており、本県においても、令和元年東日本台風では、土砂災害が発生した98箇所のうち18箇所が土砂災害警戒区域外で発生。
- ・ 土砂災害の発生状況を踏まえ、国は令和2年に「土砂災害防止対策基本指針」を変更しており、今後は高精度な地形情報を用いて土砂災害が発生するおそれのある箇所の抽出に努めるものとされた。

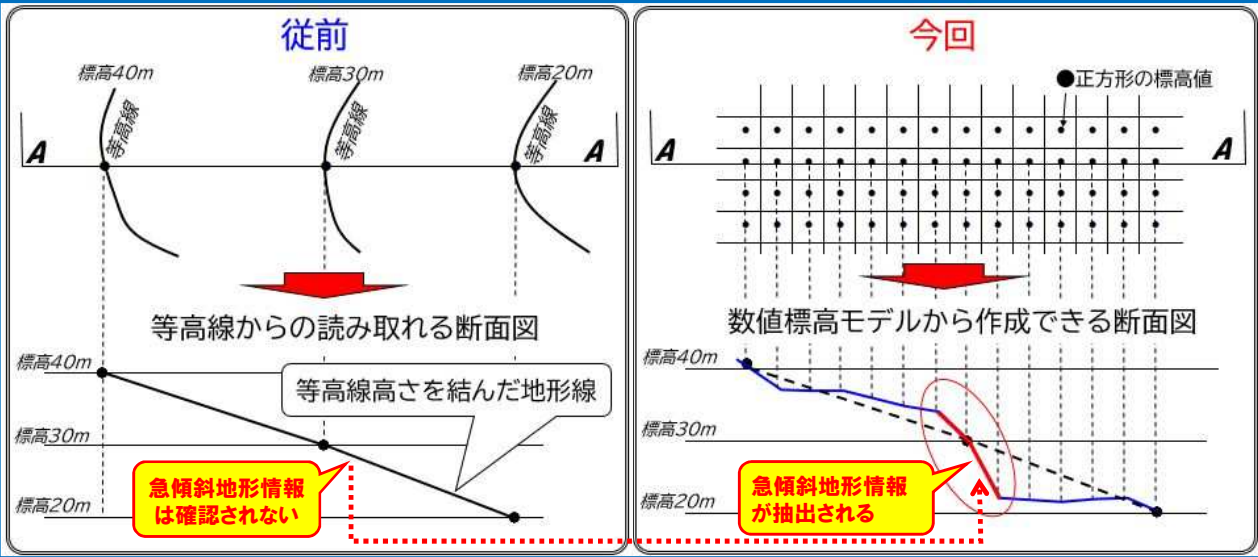
3 高精度な地形情報(5mメッシュDEM)による抽出

- ① 数値標高モデルは、航空レーザ測量により作成。抽出には高精度な地形情報である5mメッシュDEMを使用。
- ② 5mメッシュDEMは、詳細な地盤の高さや、傾きを把握できるため、これまで確認できなかった地形が抽出可能となった。



数値標高モデル(DEM:DigitalElevationModel)とは、地表面を等間隔の正方形に区切り、それぞれの中心点に標高値を持たせたデータ

急傾斜地の抽出方法



4 高精度な地形情報(5mメッシュDEM)による抽出事例

土砂災害警戒区域の指定がされていない箇所で土砂災害が発生。
高精度な地形図では、傾斜度30度以上で抽出された。

- ※急傾斜地の抽出条件
- 高さ : 5m以上
- 傾斜度 : 30度以上



地形図からの読み取り※
高低差: 約9m
距離: 約20m
傾斜度: 約24度

※災害後に資料提供を受け、国土交通省が判読

急傾斜地の抽出事例

凡例
メッシュの傾斜度
□ 傾斜30度未満
■ 傾斜30度以上